

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価表）					対象年度		令和5年度		
事業番号	72	事業名	重症化予防事業		担当課		保険医療課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-1-3 重症化予防事業		
			(大事業名) 保健衛生普及事業		決算書ページ		23 ~		国保
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		事業開始の背景	国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。		
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進					
		施策	(1)	市民の健康づくり					市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度	平成28年						
		終了予定年度	☐ 年度	☒ 未定					
		根拠法令等	国民健康保険法						
		関連計画	第3期長久手市国民健康保険データヘルス計画						
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 250人 【事業内容】 健康リスクの高い人に対し「1人ひとりに合わせた」医療・服薬情報や生活習慣改善の方法を提供し、自分のカラダの健康の自己管理能力を高めること（セルフケア）で生活習慣病の重症化を防ぎます。		【アクションプラン指標】 健康リスクの高い人のうち、医療機関未受診者の割合【単年】 ...→ 【その他の指標】 ・健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者のうち保健指導勧奨等を行った割合 ・健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）になった対象者の人数		重症化保健指導の参加者のうち、特定数値が改善した人の割合が増える。 (成果指標名) 生活習慣の改善意欲がある人の割合		大事業共通 自分の身体の健康管理能力が高い市民の増加。 また、数値が改善しないアンコントロール群を減少させ、糖尿病が重症化したことによる透析や入院、手術に伴う医療費減少。	

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
			基準値	目標値							
活動指標	1	【アクションプラン事業】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者のうち、医療機関未受診者の割合	%	基準値	2.40	見込	1.60	1.25	1.20	1.15	1.15
				目標値	1.00	実績	1.30				
	2	【その他指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者のうち保健指導勧奨等を行った割合	%	基準値		見込	100	100	100	100	100
				目標値		実績	100				
	3	【その他指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）になった対象者の人数	人数	基準値		見込	250	235	230	225	220
				目標値		実績	237				
	4			基準値		見込					
				目標値		実績					
事業開始からの経緯											
HbA1Cの有所見割合は、健診を受診した人の中で40%を超える割合で推移しており、減少には至っていない。人口透析や手術につながる前に市や専門医、かかりつけ医、栄養士などが連携して個別指導を継続的に行っていくことが大事である。統計的に人口透析の新規患者数は減少しているが、引き続き注視が必要である。											
R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者については、全て保健指導等を実施することができた。またその指導により医療機関への受診や、数値改善につながったケースも見受けられた。しかしながら、受診はしても医療機関により判断が分かれ治療につながらないケースもあり、継続的な通院にも至らないこともあるため、連携実施と本事業の周知が課題である。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		生活習慣の改善意欲がある人の割合		%	1 年度		4 年度		【現状】 5 年度		9 年度		14 年度	
					67		67		66		72		75	
		B					指標目標値の根拠							
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					保健事業の実施効果を見るために、特定健康診断質問項目の中で、生活習慣の改善について、「改善意欲あり」以上の回答をした人数の割合を成果指標とする。						
	評価の理由、分析													
	令和元年度より「生活習慣の改善意欲がある人の割合」が66～67%で推移しているため一定の効果が出ていると判断している。しかしながら、目標値との開きが若干あるため広く周知していく必要がある。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性の理由												
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		活動指標及び成果指標について、改善傾向にあるため大きく変更を行うというよりも、継続的な事業実施の中で見直しを行っていくことを考えているため。ただし、重症化予防事業に係る人員が不足しており、対応に苦慮している。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

R7年度の費用（R6年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		事業費		予算	予算	決算	予算	決算
	4,907				5,714	4,213	5,793	5,664	
理由			特定 財 源	合計額	4,907	5,714	4,213	5,793	5,664
重症化予防事業は、継続的に実施していくことで、医療費の削減にも寄与していくものと考えているため、前年度同等の予算額は確保していきたい。				(内 国費)	0	0	0	0	0
				(内 県費)	4,907	5,714	4,213	5,793	5,664
				(内 諸収入)	0	0	0	0	0
				(内 その他)	0	0	0	0	0
積算額			一般財源		0	0	0	0	0
保健事業業務委託4,057千円 保険者独自データ作成手数料773千円 通信運搬費47千円 消耗品費30千円			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）> 保健事業業務委託4,057千円（4,834千円） 保険者独自データ作成手数料773千円（773千円） 通信運搬費47千円（80千円） 消耗品費30千円（27千円）						

IV
費用

令和7年度予算の方向性（PLAN）